

M1 Magnetic Pickup System USER'S GUIDE

エルールバッグスの製品をお買上げ頂きましてありがとうございます。M1はL. R. Baggs初のマグネチックピックアップです。特許申請中の独自構造による新しいピックアップシステムです。M1はパッシブタイプですが別途電池を必要としない程度のアウトプットレベルを持っていますが、弊社ParaAcousticD. I. を使用するとマグネチックピックアップ独特のライン奥さが消えナチュラルなギター本来の音が得られます。このマニュアルを一読の上、有効にご使用ください。

1. 概要と注意

M1はウオームでプレゼンスを持ち、際立ったボディ・センシティブリティをフィーチャーしたパッシブ・サウンドホール・マグネティック・ピックアップです。テュアルコイル・デザインによるクリアでリッチなトーンを再生しながらもフィードバック、ノイズ、ハムに強く、L. R. Baggs独自開発のTriAxial Dynamic Technology (*特許申請中)により弦鳴りとボディ鳴り両方の再生に成功しています。また、M1はスムーズな上面を持つボールピースを持ち、各弦独立で高さ調整が可能になっており、2種類（半永久取付用22インチのストラップジャックアセンブリと簡易取付用12フィートのモガミ製ギター・ケーブル）のギター・ケーブルが付属します。

M1は直径3.5インチ（約89mm）以上のサウンドホールを持つギターに取り付けることが出来ます。ギターに加工を施す前にM1が取り付けられるかどうか確認してください。

取り付けは非常にシンプルですが、木部加工（ストラップジャック用の穴あけなど）はプロのリペアマン、またはそういった作業に慣れた専門店などに任せたい方が良いでしょう。

2. 取り付け

2.1 取り付け概要:

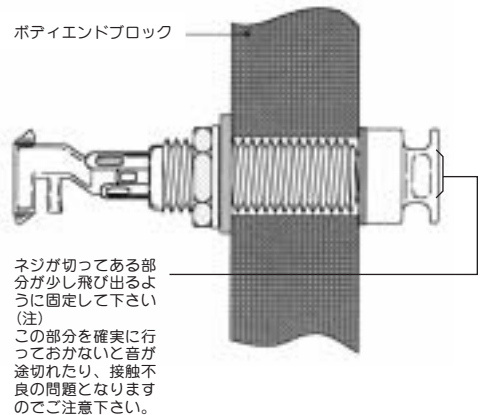
取り付け方法として、付属のストラップジャック・アセンブリを使用する半永久的な取り付けか、モガミ製ギター・ケーブルを使用する簡易取り付けが選べます。ストラップジャック・アセンブリを使用する場合、エンドピン（またはその周辺）に穴あけ加工が必要になります（下記セクション3.2を読んでください）。モガミ製ギター・ケーブルを使用する場合にはサウンドホールからケーブルを出し外部機器に直接接続することが出来ます。この場合、ギターへの加工は一切不要になります。（裏面のセクション2.3をお読み下さい）。

2.2 ストラップジャックの取り付け:

半永久的な取り付けをする場合、ストラップジャック用の穴あけを行う前にサウンドホールに取り付けられるかどうか確認してください。M1は3.5インチ（約89mm）以下のサウンドホール持つギターには取り付けられません。またギターによってはサウンドホールの位置がずれていてM1を取り付けた際に各弦がM1のボールピースの真上に来ないことがあります。このようなギターの場合、まずは、簡易取り付けで音量バランスなどを確認してください。

1. ストラップジャックの取り付けには、ギターの底部に1/2インチ（約12.7mm）の穴を開ける必要があります。この穴が無い際には、塗装欠けを防ぐため、まず穴を開ける箇所の周りにマスキングテープを貼り、小さなガイド穴を開け、ステップドリルでその穴を広げていきます。
2. まずストラップ・リング、リテイナー・ナット、ワッシャーをジャックから外します。この時点ではスター・ロッキング・ワッシャー、フラット・ワッシャー、ナットがストラップジャックに付いているはずですが。そのままサウンドホールからストラップジャックを入れボディ底部に空けた穴に通します。
3. 次に、図を参考に、ネジが切ってある部分が少し内部に入る程度に内部のナットを使って調整します。
4. 次に、この状態のまま、最初に外したワッシャーを間に入れてリテイナー・ナットを適度に締め込み、さらにストラップ・リングを取り付けます。リテイナー・ナットを絞め込む際、力を入れすぎると塗装にヒビが入る恐れがありますのでご注意ください。

ジャック部の半永久的な取り付け



2.3 ピックアップの取り付け:

ストラップジャックハーネス、またはモガミ製ケーブルをピックアップ側のジャックに差し込みます。モガミ製ケーブルを使用する場合、ピックアップ下部のコードを丸めストレイン・リリーフに挟み込んでおいてください。

ピックアップの上部にあるクランプ・スクリューを緩めてサウンドホールにはめ込み、ネジを締めます。小さなサウンドホールの場合、クランプを完全に取り外してから取り付け、クランプを元に戻す際にピックアップ本体にあるスロットにきちんとはまるようにしてください。

ネジを締めます（ピックアップやギターの塗装面にダメージを与える可能性があるため締めすぎにはご注意ください）。ギターの塗装面へのダメージを避けたい方はM1のクランプ部にコルク・パッドをつける事をお勧めしますが、これは、よりボディとピックアップのカップリングを向上させるために意図的にパッドをつけていないのであり、パッドを付ける事でギターの表甲が作り出す深みやウォームさ、ピックアップのレスポンスを損なうことになります。

半永久的な取り付けの際には、内部のワイヤーを付属のワイヤー・クリップ（2個）で固定してください。

3 ユーザーガイド

3.1 パッケージの内容説明:

ピックアップ、ケーブル（2種類）、ワイヤー・クリップ（2個）に加え、3/32インチ（約2.38mm）のボールピースの高さ調節用六角レンチとスヘアのボールピース（2種類3個）が付属します。

3.2 アンプなどへの接続:

M1はどんな機器に接続しても良い結果が得られますが、ミキシングボードなどに見られるロー・インピーダンス入力を持つ機器に接続すると音がフラットなものになりピックアップの出力も下がってしまいます。ハイ・インピーダンス機器（アクティブDIなど）はM1のニュアンスを確実に捕らえます。ParaAcoustic D. I.はそのハイ・インピーダンス、クリーン・ゲイン、EQによりベスト・マッチだといえます。

ケーブルの質と長さが音に与える影響にも注意すべきです。パッシブ・マグネット・ピックアップとケーブルのキャパシタンスが相互に作用しあい、周波数のピークを作り出すからです。長いケーブルはこの周波数ピークを下げ、エッジの立った”エレキ・ギター”のような中域を作り出し、短くキャパシタンスの低いケーブルは周波数ピークを上げ、よりアコースティックなトーンを作り出します。ただしこれらはあくまでガイドラインであり、あなたのギターと機材に最も適したトーンが得られるケーブルをお使い下さい。

3.3 ボールピースの高さ調整:

M1のボールピースはブロンズ弦に合わせてありますが、好みにより付属の六角レンチで高さを調整することが出来ます。ボールピースを弦に近づければ出力が上がり、遠ざければ出力は下がります。パワフルでハッキリとしたトーンを得るには出来る限り近づけたほうが良いでしょう。逆に逆にボールピースを下げることによってボディ・サウンドを強調することが出来ます。

ニッケル弦などのエレキ弦のB弦（2弦）とE弦（1弦）用に3/4インチ（約19mm）のボールピースが2個、アコースティック弦の3弦（ブレーン弦）用に3/8インチ（約9.5mm）のボールピースが1個同梱されています。

注意：調整レンジを超えてボールピースを下げていくと一定の場所で抵抗がかかります。それ以上はボールピースを下げて下さい。ピックアップを破損する恐れがあります。

3.4他のピックアップとのミキシング:

M1は単体での使用にも適していますが、他のトランスデューサーとの併用も可能です。付属のストラップジャックハーネスはステレオ仕様ですので、ミニ・マイクや他のトランスデューサーの出力ワイヤーをストラップジャックハーネスのリング・ターミナルに接続し、ステレオ・ケーブルを通して当社のMIXPROなどを介することでM1とのミックスが可能です。また、その他の2ピックアップ・システムも、既存のサウンドホール・ピックアップを容易にM1に変えることが出来ます。その際、可能であれば2つのピックアップの位相をチェックしてください。